

住民意識・ニーズの概要

暮らしのイメージ、目指すまちの姿、宮代町の良いところ、宮代町の改善したいところをテーマに、住民の意識・ニーズをまとめた。また、多くのアイデアをもらっているが、それらについては分野ごとに記載している。

①住民意識調査

住民意識調査（対象 18 歳以上 3,000 人）

回答状況 1,193 人(回答率 39.8%)

住民意識調査(転入者用)

(対象 過去5年間に転入された 18 歳以上 1,000 人)

回答状況 336 人(回答率 33.6%)

②町民ワークショップ

6/15(午後)、6/22(全日)

「宮代町の 10 年後を話し合うワークショップ」と題し、町民の意見・アイデアを出し合うワークショップをワールドカフェ形式で開催。

町民 50 人に加え、総合計画審議会から7人参加。

テーマに沿って話し合い、多くの意見・アイデアが出され、グループ発表や町長総括が行われた。

話し合いのテーマ

- ①他の町に住んでいる人に自慢できる、宮代町の良さ、魅力はどんなところですか。
- ②5年後の宮代町は、どんな町になってほしいですか。
- ③宮代町の案外知られていない〇〇気付いてないけど、実はすごい〇〇もっと活用できそうな〇〇
- ④あなたがいいなと思う、地域を良くするための「集まり」や「活動」は、何ですか。
- ⑤宮代町が今よりもっと元気になるために必要な「取り組み」や「アイデア」は、何ですか。
宮代町を輝かすために、あなたがやってみたいと思ったものは何ですか

暮らしのイメージ

〈住民意識調査〉

- 住みやすさを考えるうえで大切なことは、「買い物の便利さ」41.7%、「公共交通の便利さ」32.8%、「豊かな自然」28.8%、「健康維持と医療機関の利用しやすさ」28.7%、「犯罪や交通事故の少なさ」26.6%、「快適な住まいの環境」21.4%、「良好な人間関係・家族関係」20.6%と続く。「買い物の便利さ」や「医療機関」を除いては、宮代町の良いところとしてもあげられている。
- 参加できる地域活動は、「ごみの減量化、資源化」27.9%、「住民同士の親睦・交流」25.6%、「地域の防犯、治安の向上」24.0%、「防火・防災、災害等の対応」23.1%、「健康づくり」21.0%などである。環境、ふれあい、安全・安心、健康への関心は高い。
- 今後の都市開発のあり方については、「開発を積極的に行う」38.3%、「開発は最小限にとどめ、既存施設の有効活用等」50.0%であり、開発抑制が開発促進を上回る。いずれの年代も開発抑制がまさっている。
- 田園風景の減少については、「行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する」55.6%、「行政と農家により、農地保全のための取組みを推進する」27.9%、「農家自身の努力に任せておけばよい」6.5%である。
「行政と農家だけでなく、農家以外の人も農地保全の取組みに参加する」について居住歴でみると、居住歴の浅い5年未満で60.7%、5～9年で59.5%、10～19年57.1%、20年以上54.6%と、居住歴の浅い人の方が多く、農業を大切にしたい気持ちが強いと考えられる。
- 自由回答の暮らしのイメージは、「自然を愛し、豊かな安全な暮らし」に代表される、標語・キャッチフレーズに対する「考え」を記述してもらったが、以下に主なものをあげる。なお、→は標語・キャッチフレーズである。
 - ・小さいからこそ行政や市民の動きや希望が見渡せる良さがある。町で起こっていることや起こそうとしていることがわかりやすいことが大事。
→見晴らしの良いまち
 - ・緑に囲まれ、人の優しさに囲まれ、人は育っていく。
→笑顔の輪を広げる
 - ・老いにも若者にも。皆が笑顔で過ごせるような町になってほしい。
 - ・自然と共存しているまち。
 - ・新しい村、東武動物公園、日本工業大学が連携し、核となるようなまち。
→小さくてもきらりと輝くまち
 - ・東武動物公園や新しい村、日本工業大学、進修館を活用し、若い人たちが訪れたり、住んでもらえる、おもしろいと思ってもらえるまち。
 - ・駅に降りた時から「ただいま」と言える安全で人の暮らしの見えるまち。

- ・幅広い年代の男女、障がいの有無にかかわらず、助け合い、笑顔で生活できる。
- ・静かに自由に、のんびりできる。→過ごしやすいまち
- ・古いものを活かして、新しいものと上手に共存させる。
- ・防災・子育て・教育・福祉などの面で安心して暮らせるまち。
- ・都内への通勤ができる範囲で一番豊かな自然が残っているのが宮代。
- ・若い人がどんどん移住したくなるまちづくり。
- ・医療費の負担が少なく、健康に暮らせるまち。
- ・田舎だけではなく美しいまち。
- ・若い人がやりたいと思ったことを町全体で支えられるまち。
- ・町中に顔見知りが増えるようなまとまりのあるまち。
- ・農と緑を守り育て、さわやかな風が心地よいまち。
- ・住民一人一人がまちでの生活を楽しめる。
- ・住む人々、訪れる人々が、“素”の“本来”の自分で居られる、戻れるようなまち。
- ・季節を楽しめるような心地よいまち。

〈転入者意識調査〉

- 自由回答の暮らしのイメージは、「人と人とのつながり」。
- 標語・キャッチフレーズに対する「考え」の主なものをあげる。
 - ・緑と風が気持ち良い、日本の原風景を残したまち。
 - ・心の落ち着くまち。
 - ・大人も子どもも安全に暮らせるまち。
 - ・住んでいて落ち着ける、安らげるまち。
 - ・子どもたちをすくすく笑顔いっぱい育てられるようなまち。大人も老後まで安心してくらしていける、あたたかいまち。
 - ・役場の木造のあったかさや職員のあたたかさ、人との距離の近さ、町長と職員の近さ、保育所などの造りもオープンであたたかく、とても素敵。大切にしていってほしい。 →あったか宮代 だ～いすき
 - ・自然を残しつつ、シンプルに住みやすいまち。

《まとめ》

多いのは、自然が豊かで人が優しく、安らぎ、子どもから高齢者まで安心して、笑顔で暮らすことのできるまちである。

目指すまちのすがた

〈住民意識調査〉

○今後、どのようなまちづくりを目指すべきかについては、「安心して老後を迎えられる福祉の充実したまち」56.5%、次いで、やや差があり「安心して子どもを育てられる子育て環境の整備されたまち」37.1%、「東武動物公園を中心としたレジャーのまち」36.2%、「田園風景の残る環境に恵まれたまち」25.3%、「大型店を中心としたにぎわいのあるまち」18.5%、「近所の助け合いやボランティア活動、地域活動などが活発な市民自治の進んだまち」16.3%の順である。

○自由回答では、「緑が多く河川がきれいでゴミのないまち」「学園都市」「若い人に希望、子育てに魅力を感じるまち」「高齢者に優しいまち」などである。

○標語・キャッチフレーズの主なものをあげる。

- ・住民一人一人を大切にするまち
- ・自然にとけ込むまち それが宮代
- ・住んでこち良いまち、安心して暮らせるまち
- ・世代を超えて誰もが住みやすいまち
- ・文化香る田園のまち
- ・0歳から100歳まで！ 笑顔あふれる宮代！
- ・緑と水辺、そして人 誰もが輝く宮代町
- ・みんながにこにこ HOT 宮代
- ・和み憩うまち みやしろ
- ・大家族のようなまち
- ・世界のどこにもない自然共生で持続可能なまち
- ・幸福度 No.1 のまちへ宮代
- ・いろんな年代の人たちとのつながりがあるまち
- ・こつぶ（小粒）なまち 大きな希望 でっかい未来のできるまち・宮代
- ・農と文化のまち 宮代
- ・自然豊かで幅広い世代の共生
- ・つながる人と人、自然がやさしく輝くまちで
- ・生活に便利な田舎暮らし
- ・都会の匂いのするシャレた田舎
- ・風が通る緑のまち 宮代
- ・子どもにやさしいまち、それはみんなにやさしいまち

〈転入者意識調査〉

○自由回答では、「のどかに暮らせるまち」などである。

○標語・キャッチフレーズの主なものをあげる。

- ・すべての世代が幸せなまち
- ・子どもをのびのび育てるまち
- ・自然豊か、落ち着けるまち
- ・住み心地一番！ 笑顔の花開くまち 宮代
- ・ともだちがたくさんできるまち
- ・人と人との輪になって笑顔いっぱい宮代

《 まとめ 》

多いキーワードは、安心、子育て、つながり、笑顔、自然などである。

宮代町の良いところ

〈住民意識調査〉

○定住の理由として、「自分の家（土地）がある」73.9%、「永年住み慣れている」52.0%に次いで、「自然環境が良い」25.3%があげられている。

○まちづくりに対する満足の割合が高い項目としては、「上水道」72.2%、「ごみの処理」70.5%、「鉄道の駅施設・運行ダイヤ」65.3%、「下水道等の生活排水処理対策」63.0%、「町職員の接客態度」61.6%、「消防・防災体制」58.1%などの順である。生活のインフラ、交通、行政の近さなどが上位である。

○自由回答として、「住居費が割安」「住民の人柄」があげられている。

〈転入者意識調査〉

○転入の決め手は、「家賃・住宅価格が手頃だった」49.4%、「住宅の条件（広さ、日当たり、静けさ）が良い」43.5%、「電車や道路など交通の利便性が良い」31.8%、「家族・知人の家に近い」25.0%など、住宅、交通条件が上位である。

○住んでみた感想は、「自然が豊か」82.7%、「安心して住める・暮らせる」68.2%、「住環境が良い」67.9%、「公園・緑地が多い」60.1%、「農業がさかん」及び「自然災害が少ない」49.1%、「交通の利便性が良い」43.5%など、豊かな自然、住居、農業、災害の少なさ、交通が上位である。自由回答では「のどかで住みやすい」としている。

〈町民ワークショップ〉

- ・進修館や笠原小学校といった全国区の建物がある。
- ・集客施設である東武動物公園や新しい村、5,000人の学生を擁する日本工業大学がある。
- ・自然が豊かで野生生物がいる。
- ・田園風景が広がり空気がきれい。
- ・はらっパークや公園など緑が多い。
- ・貸出率県内2位の図書館がある。
- ・若者に人気のコスプレイベントなどイベントが多い。
- ・敬老会、おしゃべりサロン、不惑のつどいなど、地域活動やサークル・集まりがさかん。
- ・人が温かく、やさしい人が多いので地域でつながりやすい。
- ・野菜が新鮮で物価が安い。
- ・福祉が充実し、子育てしやすい。
- ・交通の便、都心へのアクセスが良い。
- ・住環境がよく、家賃が安め。

- ・町民の声が行政に届きやすい。

《 まとめ 》

宮代町の良いところとしては、豊かな自然環境、都心への交通の利便性が高いこと、生活インフラを含め住環境が良いこと、住民の人柄が良く、地域のつながりがあること、さらには町民と行政が近いことなどがあげられている。

また、東武動物公園、日本工業大学、名だたる建物など、全国区の施設もあげられている。

宮代町の改善したいところ

〈住民意識調査〉

○移転したい理由は、「日常生活が不便」が40.6%と、次の「交通が不便」29.0%を大きく引き離している。「日常生活が不便」は、70歳代以上では63.0%と非常に多い。

○まちづくりに対する不満の割合が高い項目としては、「食料品等の日用品の買い物の便利さ」48.8%、「道路の整備(幹線道路)」47.4%、「道路の整備(生活道路)」46.5%、「道路等の水はけ・冠水対策」45.8%、「公園・遊歩道の整備」40.4%、「市街地の街並み・景観の美しさ・快適性」36.6%などがあげられている。

○自由回答として、「買い物が不便」「高齢者の交通手段」「道路幅が狭く歩道が少ない」「公園や子どもの遊び場が少ない」「水害に強いまちに」「駅周辺の土地の有効活用」といったように、不満の割合の高い項目についての記載が多い。

さらに、「医療機関」「新しい村の活用」「ゴミ捨て場の管理」「まちなかの明かりが暗い」「自治会役員の仕事が多すぎる」などもある。

〈転入者意識調査〉

○移転したい理由は、「日常生活が不便」29.1%、「交通が不便」23.6%、「仕事の関係から」18.2%と、町民アンケート調査と同様である。

○自由回答として、「歩道整備」「病院」「駅前に商業施設」「子供が遊べる公園」「公園が草だらけ」「街灯が少ない」「働く場所が少ない」「スーパーマーケット」「ゴミ分別の簡略化」「自治会・町内会への強制加入」「子育て等の情報提供」「自治会役員の仕事が多すぎる」「楽しめる場所がない」などがあげられている。

〈町民ワークショップ〉

- ・ 駅に複合施設
- ・ 商業環境の整備、活性化
- ・ 病院・医療環境の充実
- ・ 公共交通の充実、道路交通環境の整備
- ・ 情報発信・PRの充実
- ・ 空き家の活用

《 まとめ 》

宮代町の改善したいところは、買い物等日常生活の不便さである。特に、車の利用がむずかしい高齢者、あるいは鉄道駅から離れた地域では深刻である。

また、生活インフラである道路については、道路等の水はけ・冠水を含め、今後の課題である。公園・緑地について、子どもの遊び場ともなる身近な地域での設置が望まれている。

力を入れていくこと

〈住民意識調査〉

- まちづくりに対する『重要』の割合が高いのは、「食料品等の日用品の買い物の便利さ」85.0%、「ごみの処理」84.1%、「防犯や交通安全対策」82.5%、「各種健診や相談等の保健事業、医療体制」82.0%、「上水道」80.4%、「消防・防災体制」80.3%、「道路等の水はけ・冠水対策」79.2%、「道路の整備（生活道路）」78.6%、「下水道等の生活排水処理対策」78.2%、「鉄道の駅施設・運行ダイヤ」75.8%の順である。
- これら上位のうち、「食料品等の日用品の買い物の便利さ」及び「道路等の水はけ・冠水対策」を除いては、『不満』の割合は高くない。
- 満足度と重要度の相関において、「食料品等の日用品の買い物の便利さ」及び「道路等の水はけ・冠水対策」は、重要度が高く満足度が低いが、それ以外の項目は重要度が高く満足度も高い項目である。

《まとめ》

「食料品等の日用品の買い物の便利さ」及び「道路等の水はけ・冠水対策」は、喫緊の課題である。

それ以外の項目については緊急ではないが、今後のまちづくりにとって重要であることには変わりなく、これまでの取り組みの充実が求められる。

〈イベント・観光、交流の場の充実〉

- ・ 地域の食事会（クリーン宮代）に食事会を組み合わせた取り組みを実施
- ・ 桜（花見）のウォーキングイベント
- ・ 町の良いところを廻る観光バスを運行
- ・ 宮代カルタを利用したツアー
- ・ 神社仏閣を活用したツアー開催
- ・ 西光院の仏像を活用したイベント・ツアー
- ・ 「運動＋ゴミ拾い＋食事会」等、健康とイベント
- ・ 「BBQ＋キャンプ＋防災訓練」
- ・ コスプレイベント＋宮代そだち
- ・ イルミネーション、キャンドルナイトの活用
- ・ 子どもをメインとした祭り
- ・ 東武動物公園東口の駅前活動（朝活、夜活）
- ・ 祭りの際に臨時バスの運行を
- ・ 食のイベント（食事・食材のシェア）開催したい
- ・ 宮代食堂
- ・ 地元のイベントは土日に開催
- ・ パブリックビューイング開催（オリパラ・ラグビーワールドカップ）
- ・ おばさんが集まれるオープンスペースがほしい
- ・ 桜並木の活用、桜並木をひとつなぎにする
- ・ 地元で遊べる場所（BBQ、桜並木周辺で）
- ・ 宮代2.0を盛り上げたい！
- ・ 進修館でお笑いイベント
- ・ 地元の集まりに出るきっかけが欲しい
- ・ 生きがい大学
- ・ 地元食堂（地元食材、地元で調理、自治会単位）・若者が集まれる交流の場の提供
- ・ 婚活パーティー（町民同士も）
- ・ 特技のマッチング（掲示板、ネットで）、スキルのシェア
- ・ 手芸などを教えたい習いたい
- ・ 書道を教えたい
- ▶ B級グルメ大会の開催
- ▶ 町内に町内野菜がおいしく食べられるレストラン
- ▶ フリーマーケットの開催
- ▶ 市民農園の推進
- ▶ 子どもと高齢者との交流
- ▶ 進修館でのコンサート

〈駅前開発、活性化〉

- ・ 駅に複合施設（病院、店、専門学校、カルチャーセンター、映画館、タワーマンション）
- ・ 和戸駅に西口を（「西口がないことを逆手にとって魅力に変える」という意見も）
- ・ 和戸駅ホームに屋根がほしい
- ・ 駅でレンタカーが利用できるように
- ▶ 動物公園の中のスペース、駅前通りスペースの活用

〈公共交通の充実、道路交通環境の整備〉

- ・ 循環バスの便数、ルート改善
- ・ 循環バスを予約制にするなど利便性向上
- ・ 循環バスの杉戸・白岡との連携
- ・ バスに代わるデマンドタクシーのようなものがあれば良い
- ・ 東武動物公園駅からの急行増
- ・ 東武鉄道の踏切改善のため立体化を図る
- ・ 宮代-春日部館道路（16号）の改善
- ・ 免許返納のため乗り合いタクシー
- ・ セグウェイ特区
- ・ レンタサイクル
- ・ ベロタクシー

〈産学との連携推進〉

- ・ 町と日工大が連携して起業支援
- ・ 日工大と農家が連携して農業用無人ロボット開発
- ・ ケモフレとのコラボ商品開発
- ・ 東京の大学の支部誘致

〈病院・医療環境の充実〉

- ・ 総合病院が必要
- ・ 小児科・産婦人科がほしい
- ・ 六花の時間外診療、緊急時の対応強化を
- ・ 何でも診る総合個人病院＋食品を扱う店を各地に配置
- ・ （かかりつけ医で）良い大病院を紹介してもらえる制度の確立
- ・ 医療先進町になってほしい
- ・ 病気になっても安心な社会復帰型の医療サービスに貢献したい

〈農業の活性化〉

- ・ 農地を東京の人へ週末家庭菜園レンタル

- ・ 荒れた農地は町の援助で所有者が無料貸し出し？（一般利用のほか企業の畑にも、また都内の人の週末農業に、杉戸農業の学生の力を借りる等）
- ・ 農機具のシェアリング
- ・ 宮代野菜を食べたい
- ・ 月曜日のスキップ広場の産直販売野菜を買いたい
- ・ 巨峰を減らさないで
- ・ 宮代さんの野菜を使ったミールキット
- ・ 野菜（自主栽培）を食べる会あれば
- ・ 地場産品を活かした「食」をテーマとした取り組みをしたい
- ・ ファームステイ（外国人）
- ・ オーナーツリー制度（みかん等）
- ・ 日工大農学部新設、杉戸農業高校との連携
- ▶ 農業については米、野菜、果物と産物ごとに企業化または組織化

〈製品の開発・PR〉

- ・ 宮代そだち
⇒毎年違う限定パッケージ（ボジョレーヌーボーみたいな）、動物公園のイベントと連動してアニメの絵をつける、ホワイトタイガーのラベル、宮高 or 日工大でアニメのイラストレーターを募集等
- ・ 「宮代そだち」を増やす（米、ぶどう以外も）
- ・ 宮代そだちを飲みたい
- ・ 20歳のお祝いに宮代そだちをプレゼント
- ・ 寄付を募って酒蔵を復活させたい
- ・ 野菜、果物のスムージーの商品化
- ・ 巨峰ワインの試飲会
- ・ 宮代名物の米・野菜を作る（町民は安く買える）

〈商業環境の整備、活性化〉

- ・ 東武動物公園駅西口に店を出して経営したい
- ・ 新規出店時、町の活性化に協力する条件を付ける
- ・ カラオケ・ボウリング等がほしい
- ・ ショッピングモール、ファミレスほしい

〈働く場所の確保〉

- ・ もっと町内に働ける場所があるといい
- ・ 企業誘致が必要
- ・ シェアオフィス
- ・ 起業したい人と町の調整役をしたい

〈情報提供、情報発信・PRの充実〉

- ・ SNS (Twitter、インスタ等) の活用
- ・ 町公認「# ハッシュタグ」の活用
- ・ イベント等の情報発信は「町まかせ」ではなく「町民主体」でネット等を活用してみんなで発信
- ・ SNS にいい情報を書き込みたい
- ・ Youtuber の活用
- ・ Youtube で動画制作・PR したい
- ・ 若い世代に向けた情報発信の充実
- ・ 自転車にイベントの広告を貼る (QR コード等)
- ・ HP の更新頻度 UP
- ・ 「宮代」の名称が駅名にもなく知られていないのもっと PR を
- ・ 知らない人が行きたくなるような広報の書き方
- ・ 特産品のアピール
- ・ 若い人に広報を読んでもらう (表紙おしやれに、おいしいお店情報、ネットで読める)
- ・ 広報にアルバイト情報を載せる
- ・ 町民全員 (学生・賃貸住まいも) イベント情報を得られるように (町民体育祭等実施されていること自体伝わっていない)
- ・ 健康づくり (スポーツ、ラジオ体操) の情報発信

〈移住・定住促進〉

- ・ 日工大の卒業生を対象に減税等の特典で定住につなげる
- ・ 移住で税金免除 or 減額 (数年でも)
- ・ 治安の良さ、安全をアピール
- ・ 婚活パーティーでできたカップルにお祝い金等

〈若い世代への支援〉

- ・ 若い人が遊べる場所がほしい (複合施設)
- ・ 若い世代が参加しやすいイベントを企画する
- ・ 若い人が定期的に集まれるワークショップ開催

〈子育て支援〉

- ・ 子ども食堂-食品の提供-フードロス
- ・ 食材提供 (町民) → 「子ども食堂+お年寄り食堂」
- ・ 地区の集会場で子ども食堂
- ・ 図書館で食材を集める
- ・ 小さい子どもが安心して外遊びができるように

- ・ ボランティアで子育てに困っている人を手助けしたい
- ・ 保育所・学校の充実
- ・ 子どもが道路に絵を描けるような町（子育て世代が住みやすい町）
- ▶ 子ども食堂＋お年寄り食堂

〈自然の保全〉

- ・ 花いっぱい、緑いっぱいの町にしたい
- ・ 花の種バンク復活
- ・ 帰ってこられるふるさとを残す（カブト虫、ホタル、ザリガニ、カエル）

〈空き家の活用〉

- ・ 空き家を活用したシェアオフィス
- ・ 空き家を利用してシェアハウスなど若い人を呼び込む
- ・ 所有者が施設入居で長期間住んでいない家の活用
- ▶ 空き家をリフォームして格安で提供
- ▶ 日本工業大学との連携

〈高齢者が元気な町、高齢者に優しい町〉

- ・ 高齢者の運転の手伝い
- ・ 通院・買い物支援がしたい
- ・ 高齢者の行ける場所を増やす
- ・ 自治会による健康体操等の集まり
- ・ 防災無線をもっと聞き取りやすく

〈学校・教育〉

- ・ 日工大生が小学生の自由研究を手伝う（IT、電気工作）
- ・ 教育の充実、子どもが元気になる町（商店を活用した取り組み）
- ▶ 小中一貫校の創設
- ▶ 貧困の子供達に食時だけでなく医療や文房具などを
- ▶ 小中学校と地域との関わりを増やす

〈スポーツ活動・場の充実〉

- ・ はらっばーくの活性化
⇒宮代町グラウンドゴルフ協会主催イベント企画等
- ・ グループラン（夜実施）
- ・ グループラン、ウォーキング、ジョグ、ラジオ体操等様々なスポーツで子どもから高齢者まで楽しく元気なコミュニティを作りたい
- ・ 運動スポーツが盛んな元気な町にしたい

- ・ ぐるりのプールの活用
- ・ プロ野球選手が来るイベント
- ・ 気軽な運動の後に食事会をする等コミュニティを広げる
- ・ ふれ愛センターのなかにボルダリング施設を
- ▶ 地域に根差した産業や商品を育てること
- ▶ 高齢者の働ける場所
- ▶ 町の遊休施設施設の活用
- ▶ 健康と体力維持のため自転車専用の道路
- ▶ 山崎山の里山利用による自然とふれあえる場づくり
- ▶ 新しい村の再開発
- ▶ 新しい村に遊びのアドバイザーがいるといい
- ▶ 新しい村一帯にオートキャンプ場や道の駅、クラインガルデンを作って宮代の自然を楽しめる施設を
- ▶ プレイパークや自然素材を使ったクラフト教室
- ▶ 役場にある子供のスペースのようなもっと大きな屋内運動場
- ▶ 特色ある公園をつくる（アスレチック、濡れてもOK、BMXできる等）

〈健康づくりの推進〉

- ・ 健診の種類が増えるといい
- ・ コバトン健康マイレージ推進
- ・ 健康体操推進

〈支え合い、ボランティア〉

- ・ ボランティア活動の拡大
- ・ 地域（敬老会など）でボランティアをする
- ・ ボランティアが増えるといい（以前あった宅配サービス（生存確認）などもボランティアがなくなった）
- ・ 高齢になっても助け合える関係性を持続させたい
- ・ 介護の経験から介護をする人の悩みを聞いてあげられる
- ・ 子育てひろばのようなところで大人でも行けるようにしてほしい（自殺予防）
- ・ ボランティアポイント制度（やってあげるだけでなくやってもらう、ギブアンドテイク（若いうちから））
- ・ 現役時代の経験を活かした人材バンク
- ・ グリーンバード（町をきれいにする活動）等支援
- ・ よろず相談所をしたい
- ▶ 「農のまち」実現のためのボランティア等の仕組みづくり
- ▶ 高齢者のボランティア制度

〈まちづくり全般〉

- ・ 新しい村の活用（森のレストラン、カフェ）
- ・ 道の駅（雇用・特産品）
- ・ 家庭菜園付き住宅で取れた作物を道の駅（新しい村をバージョンアップして動物公園と行き来できるようにする）で売る
- ・ 2世帯3世帯が住みやすい仕組みづくり
- ・ 小さい町を利用した小さい商店が集まる安全な町
- ・ 特色ある公園をつくる（アスレチック、ぬれてもOK、BMX できる等）
- ・ スケボーコースを作る
- ・ 地下道をギャラリーに（アクアリウム、イルミネーション等）
- ・ 建物の高さ制限の撤廃（「強化」という意見も）
- ・ ふれ愛センター復活
- ・ 町の失敗政策の見直しをしたい
- ・ 社会実験を積極的にする
- ▶ 盆踊り等当たり前だと思っているやり方を変える

〈ワークショップ・ワールドカフェ〉

- ・ 何をがんばってよいかわからないので今回のように宮代を知る機会、考える場を持ちたい
- ・ ワールドカフェの場を増やしてほしい（地域ごと）
- ・ またワークショップに参加したい、今回のワークショップを次につなげたい（地域、世代）
- ・ 今回のワールドカフェをきっかけに町と関わっていききたい
- ▶ 年代別の意見交換会